

科目名	国際経済・金融と企業 Business in Global Economy & Finance		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・火・3 限	秋・火・6 限	-	-
担当教員名	里見 泰啓	e-mail		
<p><講義の概要と目的></p> <p>経済のグローバル化が進展し、各国経済の相互依存が深まっている。そのためマクロ経済、また個々の事業活動も世界経済の影響を受けるようになった。</p> <p>この講義では、国際経済学の考え方を紹介するとともに、グローバル経済のもとでの金融、企業活動の潮流、個別企業の対応を考えていく。</p> <p><到達目標></p> <p>国際経済のフレームワークの理解、グローバル経済の下での企業経営、事業運営についての着眼点を持つこと。</p> <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>期末に受講生のレポートをもとに討議する。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1 回目： グローバル経済時代の日本経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：グローバル経済の進展と日本経済への影響を概観し国際経済のフレームワークをみる。 <p>2 回目： 国際マクロ経済学の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：国際マクロ経済政策の基礎を解説する。 <p>3 回目： 国際貿易論の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：国際貿易理論の基礎を解説する。 <p>4 回目： 国際金融論の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：国際金融理論の基礎を解説する。 <p>5 回目： 雁行形態の経済発展と生産・貿易パターンの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：新興国、開発途上国の経済発展と国際的な生産・貿易パターンの変化を考える。 <p>6 回目： 国際間要素移動のメカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：国際間要素移動のメカニズムを、資本を中心に考える。 <p>7 回目： 中間まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：6 回目までの内容を要約し、小テストを行う。 <p>8 回目： 国際金融マーケットのフレームワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：国際金融マーケットのフレームワークを概観する。 <p>9 回目： 国際金融取引の拡大と通貨問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：国際金融取引が拡大する要因、金融取引の拡大による通貨問題について探る。 <p>10 回目： 海外直接投資の潮流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：企業の海外進出、事業買収など海外直接投資の様相を探る。 <p>11 回目： 国際分業の進展と貿易構造の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：東アジアにおける国際分業の進展と貿易構造の変化の様相を探る。 <p>12 回目： 日本企業の海外展開①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：日本企業の海外進出を大企業の事例を中心に考えていく。 				

13 回目：日本企業の海外展開②

- ・要点：日本企業の海外進出を中堅・中小企業を中心に考えていく。

14 回目：グローバル経済の下での事業戦略①

- ・要点：受講生のレポートをもとに、グローバル経済下での事業戦略について討議する。

15 回目：グローバル経済の下での事業戦略②

- ・要点：受講生のレポートをもとに、グローバル経済下での事業戦略について討議する。

<講義の進め方>

講義は、SNS に掲載する講義資料を中心に進める。
小レポートをもとに受講生とのディスカッションを重視する回がある。
また、小テストを実施する予定である。
受講生の興味、理解に応じて、若干、講義計画を変更する場合がある。

<事前事後学習内容>

講義ノートを中心に必要に応じて参考文献を用いて予習・復習をする。

<予習・復習時間>

各回の予習・復習にはそれぞれ2時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示する。

<教科書及び教材>

教科書は特に指定しない。講義ノートを配付する。

<参考書>

伊藤元重 (2006) 『ゼミナール国際経済入門 改訂3版』日本経済新聞社
クルーグマン・オブストフェルド・メリッツ 『クルーグマン国際経済学 理論と政策 上・貿易編』丸善出版
クルーグマン・オブストフェルド・メリッツ 『クルーグマン国際経済学 理論と政策 下・金融編』丸善出版
若杉隆平 『国際経済学 第3版』岩波書店
など。その他は適宜、講義のなかで提示する。

<成績評価方法>

欠席6回以上は成績評価しない。
小テスト50%、レポート50%で評価する

<課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

講義 SNS サークルにて全体に対するフィードバックを行う。

<履修条件>

特になし。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー>

火曜5限

<その他>

特になし。